

油久の昔新聞

令和二年
一月二十九日
赤坂海利

学校の保健室

昔の保健室と、今の保健室は、どこが違うのか比べてみました。

昭和二十七年から養護婦配置がなされる。現在の養護教諭ではなく通称「保健婦さん」だった。看護婦免許所持者だったようだ。病氣とけがが中心で現在のような心の病いはほとんどなかったのだろう。まだまだ地域の医療施設は十分ではなく野間も遠かった。地域にとっ



昔の保健室

て学校の保健婦さんは貴重だった。持病の注射や栄養注射をお願いしていた。保健室にあった注射器を鍋で煮沸消毒し丁寧な対応だった。あかぎれ、しもやけは痛々しかった。畑での止血は「ヨモギ」をもんで使った。

昔の学校

昭和十年から二十六年は、ひとつしかなかったけど昭和二十七年には教室が二つに分かる。これを見るとだんだん人がふえていることが分かる。

昭和二十七年から四十年のときは、人数が多かったから給食室があったけど昭和十年から二十六年は、人数が少なくなったから給食室がなくなった。昭和二十年は体育館があったのに十年には体育館が



昔の学校

年には体育館がなかった。これを見ると学校の人数がだんだんへってきていることがわかってきます。

感想

ぼくは、油久の昔について調べていろんなことを知ることができてとても楽しかったです。今度は、違うことを調べていきたいと思います。これからも新聞にさまざまなことを書いていきたいです。



今の保健室